急増する孤独死は人ごとではない!Part3

~コロナ禍で進んだデジタル化 孤独・孤立と高齢者のつながりづくり~



分科会No.2





早稲田大学文学学術院教授

コロナ禍によって、孤立が急増。

①時代の変化に伴う現在の孤独・孤立とおひとり様文化のメカニズムを 専門家によって解説。

集合住宅の単身高齢者の孤立化は、日本全国の問題となっています。

②集合住宅自治会による住民同士の支え合い。 孤独・孤立への対策と施策及び今後の課題と現実。

ICT化が進む中、単身高齢者は取り残されないか?

③行政の高齢者へのデジタルデバイド施策とその実態。

日本社会に孤独・孤立にまつわる言説があふれてきたのは、2000年代からです。 2021年には孤独・孤立対策担当室が設置され、孤独・孤立対策担当大臣が 任命されました。多くの人が孤独・孤独または孤立死の不安に怯えるなか、 私たちはどういったことに備え、何を考えてゆくべきでしょうか。

[出演] 石田 光規 早稲田大学文学学術院教授

2021年11月から内閣官房孤独・孤立対策担当室『孤独・孤立対策の重点計画 に関する有識者会議』委員 著書:孤立の社会学 孤立不安社会 他多数

河野 哲男 サンヴェール高槻サンシニア会副会長 竹ノ内秀明 サンヴェール高槻自主防災会会長

石本 有樹 CHAIN株式会社代表取締役

市民社会をつくるボランタリーフォーラムTOKYO 2022

日時: 2022**年**2**月**11**日 (金)** 16:00**~**18:00

会場:飯田橋セントラルプラザ (受付 10F)

アクセス: JR総武線 飯田橋駅 西口改札右手

申込は裏面へ

■ 日時・会場・参加費・アクセス

○分科会名: 急増する孤独死は人ごとではない! Part3

~コロナ禍で進んだデジタル化 孤独・孤立と高齢者のつながりづくり~

○日 時: 2022年2月11日(金):16:00~18:00

○参加方法: 飯田橋セントラルプラザ10階

または、オンライン(Zoom)

○定 員: 会場20名 オンライン200名



│ 市民社会をつくるボランタリーフォーラムTOKYO 2022について

「分科会No2:急増する孤独死は人ごとではない!Part3」は

<市民社会をつくるボランタリーフォーラムTOKYO2022>の分科会の一つです。

このフォーラムでは、暮らしの中から見えてきた社会課題について、

私たちに何ができるのかを一緒に考えていきます。

今年のテーマは「みんなで考える。だから、オモシロイ。」

みなさまのご参加をお待ちしています。

■開催期間 2022年2月11日(金祝)~13日(日)

■会場 飯田橋セントラルプラザ・オンライン(Zoom)・ほか

■参加費 1分科会1,000円 *高校生以下または、18歳未満の方は無料

■企画 ボランタリーフォーラム TOKYO 2022実行委員会

■主催 東京ボランティア・市民活動センター

■ アクセス J R 総武線 飯田橋駅 西口改札右手 地下鉄 有楽町線・東西線・南北線・

大江戸線 飯田橋駅 B2b出口

■特設サイト https://www.tvac.or.jp/vf/

■ Twitter 「@voluntaryforum」

■ Instagram 「@voluntaryforum」

■ Facebook 「@voluntaryforumtokyo (市民社会をつくるボランタリーフォーラムtokyo)」

■ 参加申し込み方法

- ○「分科会No2:急増する孤独死は人ごとではない!Part3」への参加を希望される方は、右のQRコードからお申込みください。(同時にほかの分科会への参加も申し込むことができます)
- ○参加費の支払いが完了すると、参加券がダウンロードできます。
- ○ホームページからのお申し込みが難しい方は、以下までお問い合わせください。



[お問い合わせ・お申し込み先] 東京ボランティア・市民活動センター 榎本・色部・上原・熊谷

〒162-0823 新宿区神楽河岸1-1 飯田橋セントラルプラザ10階 TEL 03-3235-1171 FAX 03-3235-0050 HP http://www.tvac.or.jp/vf/